

IoT時代のワンポイント講座

地図・地球データ

第16回 オンライン地図と地図アプリの連携

平野 匡伸

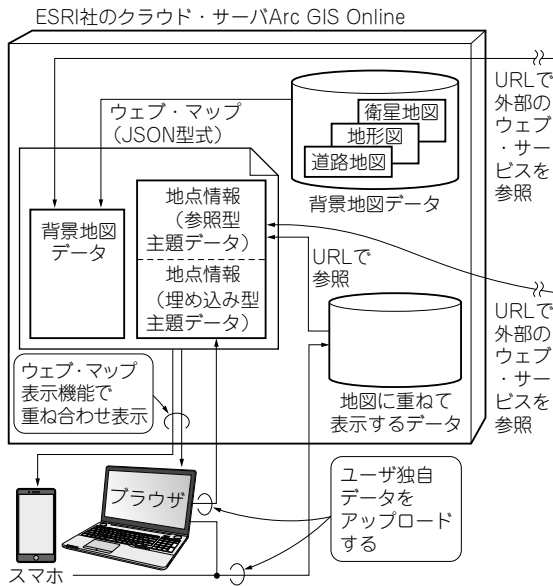


図1 参照型のオンライン地図は地図アプリからも使える

オンライン地図と地図アプリの連携を確かめる

オンライン地図はウェブ・ブラウザだけでなく、地図アプリからも使うことができます。今回は専用の地図アプリケーションとオンライン地図の連携メカニズムを紹介します。アプリはブラウザを通してオンライン地図を使う場合に比べて、操作や動作がスムーズです。さらに通信のできない場所であったとしてもデータの追加などが行え、通信が可能になったときに更新したデータをまとめてクラウドへアップロードできます。

本連載の前々回(第14回)と前回(第15回)では、クラウド上にMyオンライン地図(ウェブ・マップ)やMyオンライン・データ(ウェブ・サービス)を作成する方法について説明しました。これらのデータはウェブ・ブラウザだけでなくアプリケーションからも追加や削除といった編集を行えます。

図1にオンライン地図システムの概要を示します。

住宅地図や地形図など背景となる地図の上に、さま

ざまな地点情報(主題データ)を重ね合わせて表示する仕組みがクラウド・サービスとして提供されています。地点情報はウェブ・サービスとして公開されているものや、ユーザの独自データなどが利用できます。

地点情報として、点在する店舗の位置や、旅行の訪問予定地などを登録したMyデータを作れば、背景地図と重ね合わせて、Myオンライン地図として利用できます。

重要な要素として閲覧だけでなく、地点情報などのデータ追加や削除、更新などの編集作業が、いつでも、どこでもできるということがあります。

● 地図アプリの準備

ESRIのクラウド・サービス ArcGIS Onlineでは、重ね合わせ地図をウェブ・マップと呼びます。ウェブ・ブラウザで利用するだけでなく、さまざまな目的で利用するため、幾つかのアプリケーション(ArcGIS Apps)が用意されています。今回はその中の1つ、「Collector for ArcGIS」を紹介します。アップルのApp StoreとグーグルのGoogle Play、そしてマイクロソフトのMicrosoft Storeから、それぞれのOS用のアプリケーションを無料でダウンロードできます。

アプリケーションの利用にはArcGIS Onlineのユーザ・アカウントが必要です。ユーザ・アカウントのライセンスは3種類ありますが、一定の機能が無償で使用できる「開発者向け」のものを使います。ユーザ・アカウントを持っていない場合は、http://bit.ly/dev_accountで取得手順が説明されていますのでアカウントを取得してください。

すぐ試してみたい方向けに、アカウント不要で使えるサンプル用のウェブ・マップも用意されています。これについて詳しくは後述します。

● アプリからMyデータを編集する手順

ウェブ・マップには地点情報(主題データ)の扱い方として2つの形式があります。

- ウェブ・マップにデータを埋め込む方式
- ウェブ・サービス形式のオンライン・データを参照する方式